

観光消費創出等アドバイザー業務委託に係る公募型プロポーザル審査要領

この要領は、西都市が実施する「観光消費創出等アドバイザー業務委託」に係る契約予定者を選定するために行うプロポーザル審査について必要な事項を定めるものである。

1 選定方法

「観光消費創出等アドバイザー業務委託に係る公募型プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）」を設置し、二段階方式で審査を行い、契約候補者の選定を行うものとする。

一次審査は書面にて審査を行い、二次審査は一次審査を通過した者に対して、プレゼンテーションとヒアリングを行う。

2 審査

審査の対象となる者（以下「審査対象者」という。）は、参加申込みをした者のうち、参加資格を有することが本市から認められ、期限内に企画提案書等を提出した者とする。

（1）一次審査

提出書類の内容を書面にて審査する。各審査委員が、別に定める「事業者評価表（以下「審査基準」という。）」に基づき採点し、各審査委員の評価点の合計点数の上位3者を二次審査の対象とする。合計点が同点の場合は、審査員ごとの順位を比較し、1位を獲得した数が多い事業者が上位となる。これでも同点の場合は2位を獲得した数を比較する。以下、下位まで同様に比較することにより、順位を決定する。なお、審査対象者が3者以下の場合は、一次審査を省略し、審査対象者全員を二次審査の対象とする。

（2）二次審査

① 審査方法

一次審査を通過した審査対象者による企画提案書等についてのプレゼンテーション及びヒアリングを行い、その内容を審査する。

各審査委員が審査基準に基づき採点し、一次審査と二次審査の点数を合計し、審査委員全員の合計点が大きい順に事業者の順位付けを行う。その結果、第1位となった者を委託契約の優先交渉権者である契約候補者とし、次順位以降となった者から順に、次順位以降の交渉権者とする。なお、合計点が同点の場合は、審査員ごとの順位を比較し、1位を獲得した数が多い事業者が上位となる。これでも同点の場合は2位を獲得した数を比較する。以下、下位まで同様に比較するこ

とにより、順位を決定する。

② 審査内容

- ア 出席人数は1者につき5人以内とし、実際に業務を受注した際の実務担当者がプレゼンテーションを主に行う。
- イ 審査の順番は原則として企画提案書の受付順とする。
- ウ 実施時間は、一事業者につき35分以内（原則としてプレゼンテーション20分以内、質疑応答15分以内）とする。
- エ プレゼンテーションは、提出した提案書をもとに行うこととし、追加提案の資料や追加資料の配付を認めない。パソコン及びプロジェクターによるプレゼンテーションは許可するが、パソコンは事業者が持参すること。
- オ 審査は個別に行い、非公開とする。

3 契約候補者の決定

- (1) 本市は、審査委員会の審査結果に基づき、契約候補者を決定する。契約締結においては、契約候補者と提案内容について詳細に協議及び契約内容の調整を行い、双方合意の上、契約を締結する。
- (2) 審査により選定した契約候補者と委託契約締結に向けた交渉を行うが、協議が不調となった場合は、次順位の交渉権者と委託契約締結に向けた交渉を行うものとする。